



市民との対話集会（高校生世代編）

対話集会とは

「地域の課題は市民の声の中にある。」との考えのもと、現場目線で、施策を推進していくことや、多くの市民の方が、市政やまちづくりを自分事として考え、行動する気運の醸成を図ることを目的として、市民と同じ目線に立ち市政やまちづくりを語り合う場です。

今年度は、次世代の思いを紡ぐ対話集会を2回、テーマ別対話集会を6回開催しています。

テーマ別対話集会～高校生世代編～

15～18歳の高校生世代を対象に、「未来に希望がもてるまち」について語り、「だれ」が「何」をするのか、「私が出来ることは何か」について話し合いました。

日時：12月16日（土）14：00～16：00

場所：西駅交流センター

参加者：発言者10名 傍聴者15名

テーマ：①舞鶴の良いところ、良くないところ。

②舞鶴に住み続けたいか。いったん離れても戻ってきたいか。

③舞鶴を盛り上げるために「私」が出来ることは何か。



主な意見（全容はグラレコをご覧ください！）

【舞鶴の良いところ】

- 人が多すぎない。
- 自然が多い。ほどよい田舎。
- 近所の方、道行く人との交流がある。
- 東・中・西地区の特徴がある。
- 海がある。

【舞鶴の良くないところ】

- 遊ぶところがない。自然より、遊ぶところが欲しい。
- 新しいものに魅かれる。
- 電車の本数が少ない。電車を待つ場所がない。

【舞鶴に戻ってきたいと思うか】

- 一度外に出てから考えたい。
- 50歳くらいになったら考えるかも。
- 不便さを感じるので住みたいとは思えない。（交通アクセスが悪い、ファストフードがない）
- 舞鶴を離れたくないと思うので、高校卒業後就職予定。

【舞鶴を盛り上げるために「私は何が出来るか】

- 舞鶴高専では、地元自治会からの声かけで松尾寺駅の清掃をしている。イルミネーションもしたが、見に来る人がいなかったと聞いている。情報発信してほしい。
- 舞鶴高専で学んだ技術を使った取組みをしたい。
- 高校生みらい会議に参加し、まちづくりの提案を行った。

